



## 保護者アンケートによる「学校評価」について

学校長 小木曾敏樹

毎年行っています「学校評価」を、今年も保護者の皆様をお願いします。どうぞよろしくお願ひします。各項目のコメント欄に、または全体の自由記述欄に、「よく分からないので評価できない」というご意見があります。学校としては、保護者や地域の皆さんにご理解いただき、学校を可視化し、透明性を増すように、ホームページ等で紹介する努力をしていますが、それで全てお伝えできているとは思いませんし、春夏のことは記憶から消えていくのは当然です。

今回は、この「南校だより」において、各項目の学校の取組について書くことにしましたので、参考にしていただければと考えています。

### 1 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、基礎学力の定着に努力している。

- 本年度、「指導と評価の一体化」の研究指定を県教育委員会から受け、県下のリーディング・スクール（東濃地区で南小のみ）として研究実践を行っています。
- 授業の終末には、授業で分かったこと、身に付いたことなどを、書きまとめたり発表したりして、必ず言語化することで確かな理解と定着を図る、南小授業スタイルを行っています。
- クロームブックでのドリル学習や復習活動を行い、反復練習の時間を作っています。
- 5年生6年生の算数については、少人数指導や教員2人体制の授業を実施し、個々の確かな学習定着を目指しています。
- 3年生以上については、専門免許をもった教員が授業を行う教科担任制を導入し、分かりやすい授業を目指しています。

### 2 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、思いやりやコミュニケーション能力の育成に努力している。

- 児童同士の豊かな人間関係を醸成するために、学年・学級の取組、異学年交流や異学年とのペア活動に力を入れています。
- コミュニケーション能力の育成を図るためのエクササイズなどを定期的に行っています。
- 授業ではグループ交流や学んだことの言語化に取り組み、全教科で実施しています。
- 人権教育に力を入れており、やさしい、親切な行いなど、「グッド・レポート」として放送で紹介したり掲示したりしています。

### 3 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、体力作りや健康増進に努力している。

- 体育の授業では「鬼ごっこ」などの遊びを準備運動に取り入れ、意図的に体力作りを行っています。また、チャレスポという岐阜県の取組に参加し、縄跳びなどを行います。
- 児童会体育委員会に働きかけ、外遊びの推奨、縦割りグループ遊び、南っこタイムの体力作り週間などの取組を行っています。

**4 学校は、確かな学力育成のため、3年生以上に教科担任制を先進的に導入しており、児童にとって効果的な指導となっている。**

- 3年生以上の学年において教科の半分を教科担任制の授業とし、専門免許を有する教員が授業を担当しています。他校では、教頭や教務主任など担任がない職員が、高学年の教科の1部を担当しているだけという状況がほとんどです。
- 中学校勤務経験のある職員がほとんどであり、9ヶ年の指導や成長を見通した指導を、各教科で行っています。

**5 学校は、家庭学習の力を付けるため、学力アッププログラム、宿題などを活用し、効果的に指導している。**

- 市教育委員会が全小中学校で行っている学力アッププログラムは、マンネリ化し効果的ではないと判断し、南小学校独自のキャンペーンや、南小学校オリジナルの自分づくりノートなどを活用し、計画的な家庭学習と学習の習慣化を図っています。
- 宿題をやめてほしい、もっと出してほしい、自学に賛成、反対と、保護者の皆さんの考えや思いは様々です。学校として、何が一番効果的なのかを検討する会議を立ち上げ、現在検討をしているところです。

**6 学校は、読書習慣を育成するための指導を効果的に行っている。**

- 国語の時間などに、定期的に図書館に行き、一斉の貸し出しを行い読書啓発を図っています。
- 児童会図書委員会主催の図書館祭り、お昼の放送での本の紹介、PTA家庭教育委員会主催の読み聞かせなどの行事や活動をとおして、読書への興味関心を高めています。
- 先生からのおすすめの本を毎年作成し、掲示しています。
- 週2日、図書司書さんが巡回してくださり、読み聞かせやブックトークなどを行っています。

**7 学校は、学級や学年、児童会や委員会、クラブや異学年グループなど、集団活動を通して適切な人間関係能力の育成を図っている。**

- 運動会や南小大冒険などの行事、ペア掃除やブロックでの学習などの日常活動で、異学年集団での活動は多く行っています。
- 良い授業の基盤は、よりよい学年学級作りにあると考え、学年学級のより良い人間関係作りのための取組やエクササイズを意図的に行っています。

**8 学校は、児童のよさや頑張りを適切に評価し、児童の自己肯定感を高めるよう、適切に指導している。**

- 学年担任制の良さを生かし、複数の教員で意図的に褒めたり評価したりして、個々の努力を自信や次への意欲につなげられるようにしています。
- 担任からの評価は日常的に行っていますが、仲間同士からの評価も授業終わりや帰りの会などで行っています。

**9 学校は、学校施設・設備の充実や保守を行い、児童にとって適切な教育環境を整え、管理している。**

- 校舎新築から18年が経過し、様々なところに補修が必要な時期に入っています。児童の安全に関わることを優先的に修繕しています。